

「福井県教育振興基本計画（令和2～6年度）」の進捗について

1 令和2年度の取組状況

方針1：学ぶ喜びを知り、自ら進んで学ぶ意欲と力の育成

- ・ **すべての県立学校に生徒1人1台のタブレット端末**および高速・大容量の校内通信ネットワークを整備
- ・ 県立高校の拠点校において、実践的なタブレット端末の公開授業および県外の専門家による先進事例を紹介する教員研修を実施
- ・ 児童生徒が自ら活動する授業例を盛り込んだ「**引き出す・楽しむ教育**」事例集を作成
- ・ 地域の高校で難関大学を目指す生徒を対象に**大学進学サポートセンター**を設置し、登録者138人に通信型補習や集合型補習等を実施
- ・ 自学自習環境の充実のため、金津、丸岡、大野、鯖江の**各高校において夜間まで自習室を開放**
- ・ 文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に、新たに三国高校、科学技術高校が指定され、**学校独自の設定教科（三国地域学、産業技術探究）など、特色ある教育活動**を実施

方針2：適性や興味関心に応じた文化芸術、スポーツ活動の促進

- ・ 小学校、特別支援学校（小学部）合わせて71校3,769名に、**越前焼に使われる越前荒土を配付**し、図画工作科の授業で活用
- ・ 「スポーツ能力測定会」、「福井大学との連携による特別な測定会」を開催し、小・中学生446名に自分の才能や可能性を発見する機会を提供
- ・ 運動能力が高くトップアスリートを目指す6年生36名を対象に「**ふくいジュニアアスリートアカデミー**」を開催し、専門的なトレーニング方法や本格的な競技体験などのプログラムを提供
- ・ 「スポジョブふくい」により、国体等で活躍が期待される**有力選手21名について、令和3年度春採用のUターン就職**を支援

方針 3：豊かな心、健やかな体の育成

- ・子どもの成長段階に応じた**推奨図書を紹介する3種類の小冊子**を作成・配布（幼児編「絵本のある子育て」、小学生編「本のあるまいにち」、中高生編「コレ、ヨモ～あなたの扉を開ける 72冊～」）
- ・「第7回福井県高校生ビブリオバトル」に加え、「**福井県中学生ビブリオバトル**」を**初めて開催**
- ・**県内指導者に、地域クラブにおける指導意向等に関するアンケート調査**を実施するとともに、休日の部活動の地域移行に関する実践研究の実施に向けて対象地域や団体について検討
- ・**令和3年度全国高等学校総合体育大会**の開催に向けて、**県内高校生によるカウントダウンイベント**や各種イベントでの大会PR活動を行い、機運を醸成
- ・学習指導要領の改訂に基づき、本県独自の食育教材「ふくいこども食育チャレンジ」第一次改訂版を作成するとともに、食を探究するための小中共通問題・発展問題を追加

方針 4：国際的な視野に立ち、自らの考えを発信する力の育成

- ・**職業系高校4校において、話せる英語の習得を目指し、フィリピンの大学生とオンライン英会話**を実施
- ・小学校への外国語の教科担任制導入のため、**新たに英語免許所有者を19校に配置**
- ・中学3年生の外部検定試験の受験料を全額補助し、その結果分析を行い、授業改善に活用

方針 5：特性や心情に配慮し、誰もが安心して学べる教育環境の整備

- ・**特別支援学校6校**の生徒が、8か所の**農業法人等において農業体験実習**を実施
- ・「**学校における医療的ケア実施ガイドライン**」を**策定**し、特別支援学校および市町教育委員会に周知
- ・児童生徒の心のケアを行うため、若年層が相談しやすい**SNS等を活用した相談窓口**を夏季休業明け前後に加え、8月以降の土日祝日に開設

- ・福井弁護士会と協定を締結し、学校からの法的相談に対し、**スクールロイヤーが助言**する事業を実施
- ・外国人児童生徒の学校生活への早期適応等のため、越前市と鯖江市の小中学校に対して、日本語支援員の配置や多言語翻訳機の整備を支援
- ・外国人生徒の多い足羽高校および武生高校定時制に、**日常会話を補助するコミュニケーションサポーターを配置**
- ・足羽高校および武生商工高校において**外国人生徒等特別選抜**を実施し、10名が合格
- ・教育総合研究所のサイエンスラボにおいて、学校では困難な実験の動画（43件）を小中高校に初めて配信し、理科の学習に活用

方針6：ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成

- ・「**福井ふるさと教育フェスタ**」を開催し、ふるさと学習の成果等のステージ発表（小学校8校、伝統芸能団体2団体）に加え、地域と連携して生産した食品等の販売やポスター発表などを実施
- ・嶺南嶺北体験・探究活動推進事業について、小・中学校37クラス、放課後子どもクラブ4クラブの970名が体験活動を実施し、**修学旅行等を含め県内小中学生12,459名が嶺南・嶺北を越えて交流**
- ・高校生が興味関心のある業界で活躍する社会人を講師とする「キャリア教育セミナー」を開催し、学習支援システムにより全校で動画を共有
- ・**県独自のビジネスアイデアコンテストを開催**し、14校から144件のアイデアの応募があり、上位6件による本選をふくい産業教育フェアにて実施
- ・埋蔵文化財発掘現場での地元小学生への出前授業や、地域住民への文化財についての出前講座を計9回開催
- ・**文化財ホームページをリニューアル**（令和3年4月から公開）し、文化財所在マップ、検索機能の追加や、子ども向けの文化財を紹介

方針7：生涯にわたる学びの支援

- ・福井が誇る日本遺産や自然環境など、ふるさと福井の魅力的な地域資源について現地を訪ね、体験を通して学ぶ「ふるさと探究講座」を開催

- ・福井市立郷土歴史博物館「越葵文庫」、福井市立図書館「越国文庫」を文書館HPの「**デジタルアーカイブ福井**」で集約公開
- ・群馬県立土屋文明記念文学館および日本近代文学館（東京都）の**2つの県外文学館から資料提供**を受け展示

方針8：新たな時代を見据えた教育環境の整備

- ・**時間外在校等時間月 80 時間以上の教職員**に対し、管理職が面談による指導・助言を行うなど働き方改革を進め、該当する教職員が昨年度 6.1%から **4.4%（R2.4 月～R3.3 月）に減少**
- ・教員志望者WEBセミナーをオンラインで実施し、県内4大学に加え、関東や関西の県外32大学から参加
- ・**小学校教員の実技試験を廃止**し、志願者が53名増加
- ・県外の現職教員や勤務経験者等の**1次選考を免除し、県外正規経験者の受験者数が昨年比1.7倍**に増加
- ・ポータルサイト「**ふくい子どもチャレンジ倶楽部**」を開設し、コンクールの募集情報や実験動画等を掲載
- ・県立学校7校において大規模改修工事を行うとともに、6校において普通教室の空調設備更新、全校において特別教室の冷房機器整備を実施
- ・県立学校29校においてトイレ洋式化工事を実施

2 令和3年度の主な取組予定

方針1：学ぶ喜びを知り、自ら進んで学ぶ意欲と力の育成

- タブレット端末を効果的に活用するため、**県立のすべての中学・高校に授業支援アプリを導入**するほか、**高志中学校の全教科でデジタル教科書を導入して活用方法を研究**します。また、公開授業等を通じて好事例の共有を進めます。
- 「**引き出す教育・楽しむ教育**」を推進するため、**各小中学校が重点的に取り組むテーマを設定し実践**するとともに、他校の児童生徒との交流やディスカッションを行う場を設けて、取組みの活性化を図ります。
- 地域の普通科系高校において、地元市町や大学等と連携した探究活動や多文化共生を学ぶ**特色ある学科やコースの設置を検討**します。
- 地域の高校に県外の高校生を受け入れる**地域みらい留学**の実施に向け、高校の魅力化を進めるとともに、**寮を含む住環境の整備を検討**します。
- **高志中学校の第1期生が高校を卒業**したことから、これまでの**学習内容や成果について委員会を設置して検証**を行うとともに、連携型中高一貫教育校3校の取組みにも活かしていきます。
- 新型コロナウイルスの感染拡大に備え、**令和4年度入試から**、これまで3月上旬に実施してきた**県立高等学校一般入学者選抜を2月上中旬に繰り上げて実施**します。また、高志中学校入学者選抜についても、大雪による影響を踏まえ、12月中旬に繰り上げ、2日間の日程で実施します。

方針2：適性や興味関心に応じた文化芸術、スポーツ活動の促進

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が優秀な子どもたちの可能性をさらに伸ばすため、**新たに学校と連携して、「ジュニアアスリートアカデミー」への参加を促し**、トップアスリート育成プログラムを提供します。

方針3：豊かな心、健やかな体の育成

- 全国高体連や会場地市町、各競技団体と連携し、本県を中心とした北信越で**令和3年度全国高等学校総合体育大会を開催**します。

方針4：国際的な視野に立ち、自らの考えを発信する力の育成

- 職業系高校における「話せる英語」の教育について、英語で福井県の観光名所を紹介するための「**福井県ふるさとツーリズム英会話検定**」を実施します。
- 本県教育委員会が実行委員会事務局を担い、「**全国高校生プレゼン甲子園**」を今夏、初めて開催します。

方針5：特性や心情に配慮し、誰もが安心して学べる教育環境の整備

- 嶺南地区の聴覚障がい児童生徒等の支援を充実するため、**ろう学校によるサテライト教室の実施回数を増加**します。

方針6：ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成

- 若狭高校の**新造実習船「雲龍丸」を活用**し、小中学生や県民を対象に、自然観察や環境調査など、**福井の海を体験する機会**を設けます。
- 「**ふるさと福井CMコンテスト**」や「**ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会**」を開催し、児童生徒が自らの地域を探究し、地域の魅力を発信する活動を推進します。
- 職業系高校において、**地域の産業や企業について学ぶ本県独自の共通科目「ふくいの産業」を開設**し、企業経営者や技術者等を講師に招いた授業を実施します。
- **産業界と県立高校が一体となり**、新技術やD X等の産業構造の変化に対応した**魅力あるカリキュラムを実施**します。

方針7：生涯にわたる学びの支援

- 社会教育関係団体が地域の拠点である公民館等と連携し実施する、**SDGsの理念に沿った活動を支援**することにより、**社会教育関係団体の活性化を図り**、地域住民の社会教育を推進します。

方針 8：新たな時代を見据えた教育環境の整備

- **令和 3 年度末までの時間外在校等時間月 80 時間以上の教職員ゼロ**を目指し、**部活動顧問の遅出勤務**や**小学校教員の早出勤務**など、個々の職員の働き方に応じた勤務時間の見直しを奨励するとともに、**超過勤務が常態化している職員**に対しては、**月途中で管理職が面談を行って担当業務の見直しと平準化**を行うなど、一層の業務改善と意識改革を図ります。
- 令和 5 年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、国の委託事業である実践研究を通じて、**持続可能な部活動の在り方について検討**します。
- **県立高校入試にかかる出願手続きと合格発表をオンライン化**し、業務の効率化と利便性の向上を図ります。